7　参考資料

7－1　施工を始める前に

1）事前現場調査の重要性

外壁工事を手際よくスムーズに進め、不具合の発生を防ぐためには事前の現場調査は大変重要です。また、住宅品質確保法などによる迅速な紛争処理のための瑕疵責任の考え方として、前工事の欠陥を見過ごした場合は、後工事の請負業者に責任があるという判断を示された例があります。

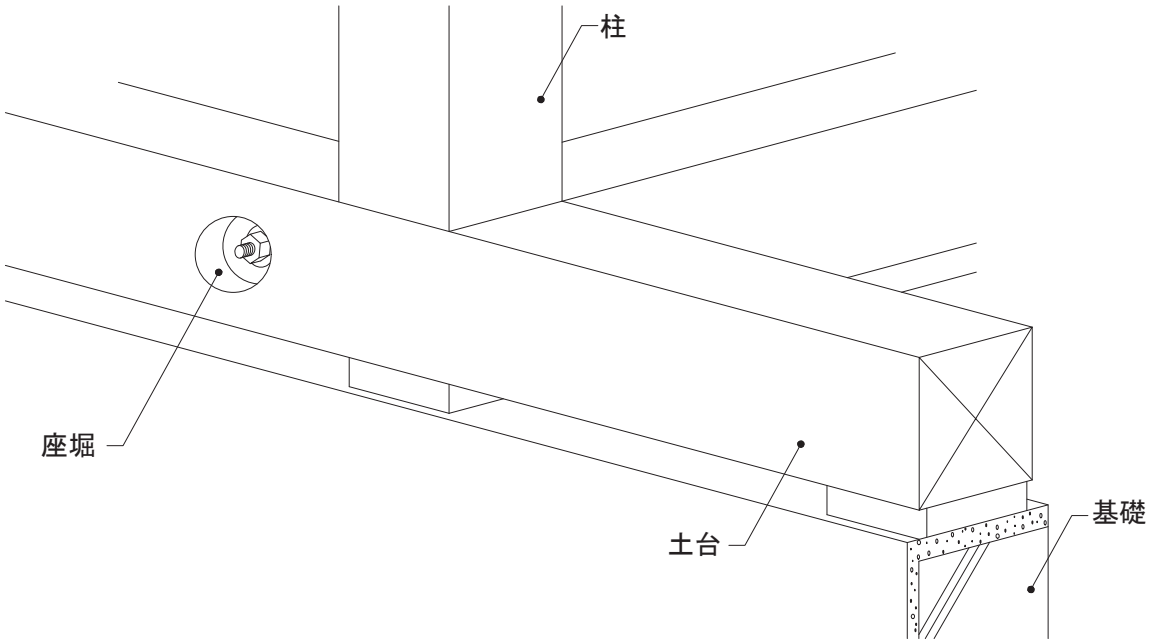
①事前調査の目的

●モエンや資材のロスを低減させる。
●作業員の作業能率を十分に引き出すように段取りする。
●指定部材や必要な関連部材、関連作業を確認し作業手順を整える。
●標準施工マニュアルで細部の納まりを確認する。
●資材仮置き場や現場加工スペースを確保する。
●躯体の状況と前工事の仕上がり状況を確認し、不備があれば指摘する。補修部分の修正が完了するまで工事の開始を調整する。

以上のように事前調査は大変重要で責任を問われる事項もあります。また、工事の利益を左右する大切な要素を含んでいます。

②事前チェックリストなどの活用

「事前チェックリスト（例）」（P248）などの書類を活用することによって、比較的手際よく事前調査を行うことができますので、参考にしてください。
実際の工事現場は前工事の施工中であったり資材の出し入れがあったりと、落ち着いてチェックしにくい場合が多いです。そのため、このようなチェックリストを用意しておくことで、確認もれを防止し、必要な事前準備を確実に行うことができます。

2）躯体の状況確認

●土台・柱・間柱・梁などは、不陸がないか確認してください。また、緊結金物類について、特にボルトなどは躯体から飛び出していないか確認してください。